



北陸3県のコンクリート診断士らが参加したフォーラム

金沢でコンクリート構造物フォーラム

維持管理の人材育成を

コンクリート
工学会中部

日本コンクリート工学会中部支部の主催、石川、福井、富山の北陸3県コンクリート診断士会、北陸SIP、インフラメン

タナンス国民会議の共催による、「北陸のコンクリート構造物の未来を考えるフォーラム」が27日、金沢市の石川県地場産業振興センターで開かれ、

物劣化環境は全国で最も苛酷」と述べ、早期劣化の診断と対策のための人材育成事業への取り組みについて報告した。

続いて、松田浩長崎大工学部教授・インフラ長寿命化センター長が「地方の道をいかに守っていくか」を演題に基調講演し、長崎県における

インフラ長寿命化の取り組みを紹介。また、北陸3県の維持管理担当職員が維持管理の現状を説明した。この後、「北陸3県コンクリート診断士会および教育機関による人材育成の取り組み」「北陸SIPによる地域実装支援の取り組みから見えてきたコンクリート診断士会への期待」をテーマにパネルディスカッションも実施。鳥居和之金沢

大学理工研究域特任教授が講評を行い閉会した。